

STAMP/STPAセミナー

■ 故障率をベースとした信頼性の考え方が通用しない時代の安全性分析手法

STAMP/STPAは、マサチューセッツ工科大学のNancy G Leveson教授が提唱している、複数のシステム構成要素が介在する複雑なシステムに対するまったく新しい安全性解析手法です。

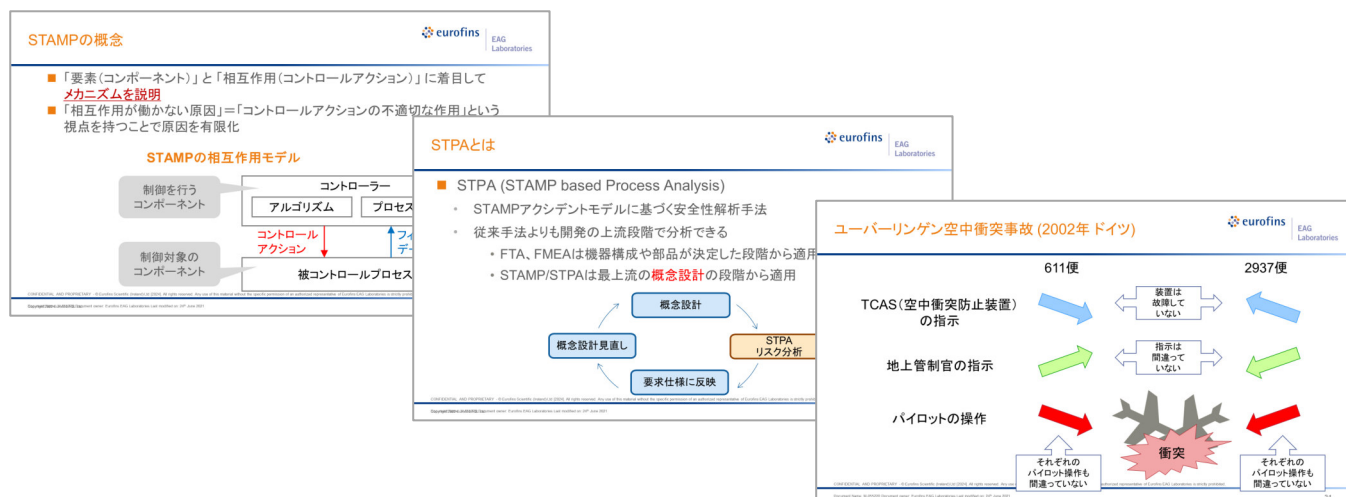
従来から存在するFTA（Fault Tree Analysis）やFMEA（Failure Mode and Effect Analysis）などの分析手法が確立したのは40～65年前であり、アクシデントは機器の故障やオペレーションミスに起因するとしてきました。

これらの分析手法は複数のシステムが互いに複雑な関係を持つSoS(System of Systems)が拡大する現代においては限界があります。

STAMP/STPAは、複数のシステム構成要素が介在する複雑なシステムに対する安全解析の方法論として、航空宇宙分野や自動車分野や、広く社会インフラ分野への適用が始まっています。

■ セミナーの特徴

- STAMP/STPAの全体像と共に、事例を使った具体的な分析手順を解説
- STAMP/STPAの知見・経験が少ない設計者が、自律的に分析を実施し障害シナリオを効果的に抽出できるよう、講義と演習を組み合わせたプログラムをご用意
- 研修を受講後、お客様の実際のテーマに合わせたワークショップの開催も可能



■ 研修内容

安全解析手法として注目されているSTAMP/STPAの考え方が理解でき、演習で分析の体験ができる基礎講座となっています。

STAMP/STPAが生まれた背景や概要を解説した後、経験のない受講者にも理解できるよう工夫した弊社オリジナルのテーマで実際に分析を行うことで、基本的な分析の手順を理解しながら学べます。

	オンサイト (講師派遣型)	オンライン (ウェビナー型)
受講人数	8名～20名	8名～20名
日数	半日（4.0H）	半日（4.0H）
会場	貴社事業所等ご指定の場所	オンライン会議システム (Teams、Zoom)
費用	個別お見積り	
テキスト	電子ファイルで提供（事前送付）	
内容	1. STAMP/STPAの概要 2. STAMP/STPA分析の進め方 3. 簡単な事例で分析（演習） 4. まとめ、質疑応答	
備考	以下、ご相談ください。 ・ 記載の受講人数外の場合 ・ 日数を変更したい場合（1日を2日に分割など） ・ 内容のカスタマイズをご希望の場合	
	・ 講義の録画・録音・撮影はお断りしております ・ 同業他社の方の受講はお断りしております	

お問い合わせ先

ユーロフィンFQL株式会社

<https://www.eurofins.co.jp/efql/contact>

9時～17時 土・日・祝日・当社指定の休業日を除く